

# KANAGAWA

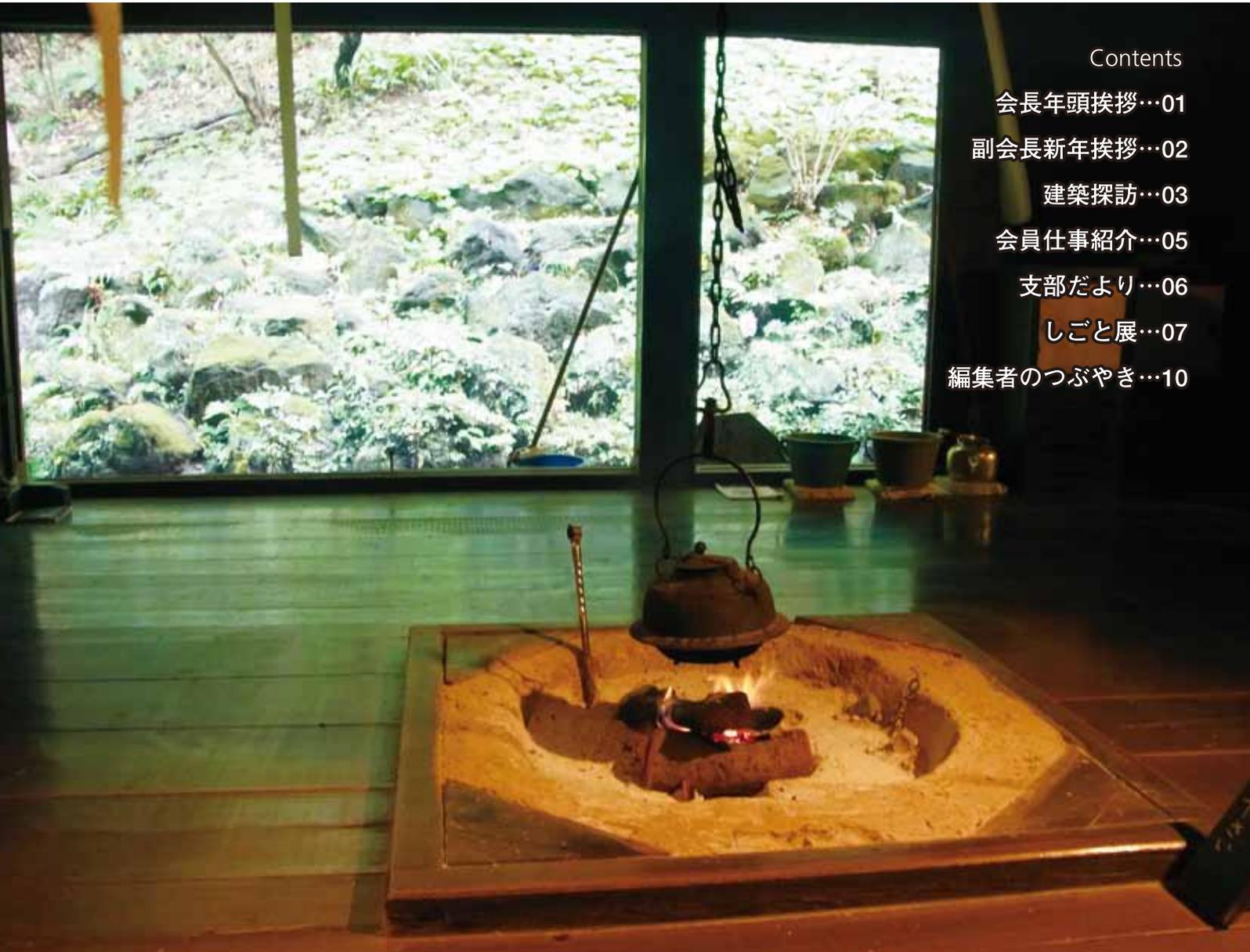
一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: [info@j-kana.or.jp](mailto:info@j-kana.or.jp)

# 1

January, 2017

vol. 406

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会は、40周年を迎えます。



## Contents

- 会長年頭挨拶…01
- 副会長新年挨拶…02
- 建築探訪…03
- 会員仕事紹介…05
- 支部だより…06
- しごと展…07
- 編集者のつぶやき…10

# 謹賀新年

## 本年もよろしくお願いたします



### 『年頭挨拶』

一般社団法人  
神奈川県建築士事務所協会  
会長 小林 忠志



新春の候お喜び申し上げます。会員の皆様には於かれましては新たな抱負をもって新年をお迎えになったと拝察いたします。

1 昨年は熊本地震に続き鳥取県中部地震が発生し、甚大な被害を蒙りました。お亡くなりになった方々、被災された方々に改めまして哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

我々も教訓を生かし、常に災害に備える意識が必要と痛感させられます。

昨年は各委員会におきましては新たな取り組み、合理的な運営行ってきたところですが今年も更なる委員会事業を強化していく所存です。

また、定期報告に関する建築基準法の改正が6月に施行され、対象建築物が増えるとともに、防火設備も対象となりましたが、実質的運用は今年度以降となりますので今後も注視していく必要があります。

アメリカのトランプ新大統領の誕生で、日本にどのような経済的影響があるかは不透明な状況ですが当協会に於いてはどのような状況になろうと会員の為、会の維持発展が重要です。その為には変化を恐れず常に改革を行っ

ていかなければなりません。停滞は衰退を招きます。

此れからもオール神事協体制、財務体質、会員増強の強化継続が必要です。役員、支部、事務局が一丸となって協力して実現を目指すべくお願いする次第です。

不透明な現在でございますが、新年を迎え前向きに明るい希望をもってこの一年を過ごして頂きますよう御祈念いたします。

最後に監督庁の神奈川県始め県下行政庁、関係団体、賛助会の皆様には一層の御指導、御鞭撻をお願いいたしまして年頭の挨拶とします。





## 29年年頭に当たって

副会長 椋 茂廣

あけましておめでとうございます。  
 ございます。

昨年は宮城沖の東日本大震災も少し忘れかけていたところに、4月に熊本地震が起こり、またもや大きな災害となってしまいました。このように、日本列島の何処で何時、起きても不思議ではないという感覚を持った一年ではなかったでしょうか。

安全安心の一翼を担っている我々の職業を改めて再考し、設計者各々が、日々どのように実践するかが問われる一年になりそうです。

健康に留意し、社会に貢献する神事協をみんなで盛り上げましょう。



## 29年新春号

副会長 小渡 佳代子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい平成29年を迎えられました

たことを心よりお喜び申し上げます。社会環境の厳しさを肌を感じる近年です。小人数の設計事務所が多い神事協ですが、オール神事協体制で、協会の魅力づくりに力を注ぎ、成長から成熟した社会の醸成へ貢献できればと思っております。神事協の40周年記念事業への皆様方のご協力に感謝申し上げます、ご多幸を祈念しております。本年も宜しくお願い致します。



## 副会長新年ご挨拶

副会長 白井 勇

新しい年を皆様健やかに  
 お迎えのことと存じます。

昨年は、40周年記念行事等で会員の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで各行事は順調に進んでおり、1月27日の記念式典で一連の行事は終了いたします。「未来に継ぐ神事協」のテーマのもと、応急仮設のコンペ・スポーツ大会・記念誌と、神事協の組織力が発揮できた事業となった気がします。

新しい年度は、この力をさらに生かせる方向で会の運営が計られ、若い世代が活躍できる環境づくりが望まれる1年になると考えています。

会員の皆様とともに、より一層頑張りたいと思います。

本年もよろしく願いいたします。



## 副会長新年ご挨拶

副会長 福田 亮一

新年おめでとうございます。  
 ございます。

昨年は熊本地震、豊洲市場問題、オリンピック施設問題と考えさせられる事が多かったと思います。また神事協40周年事業は実行委員の方々のご尽力により着実に成果をあげる事が出来たと思います。

今年には米国のトランプ新大統領が誕生し、日本経済も何らかの影響を受けるかと思えます。日本の人口が毎年減少し高齢化が進み量から質への時代の中、建築士に課せられたものは防災、まちづくり、耐震、省エネ、空家対策等数多くあります。格差社会が進む現在、社会情勢を見据え全会員でより良い年になるよう力を合わせて行きましょう。そして青年会員が希望と情熱を注げる神事協であるために私も微力ではありますが努力する所存です。

## 建築探訪

### ものづくりの京都迎賓館を見学して

横須賀支部

株式会社里木アルファデザイン 増田 務

昨年春、内閣府より京都迎賓館の公開を試験的に行い、その後接遇に支障のない範囲で一般公開を開始すると発表があった。

前々から行きたかった夢が叶うと思い、すぐにでも見学したい。

昨年10月21日22日、2泊3日の京都奈良の旅行の計画を立てた。勿論「京都迎賓館」の見学だ。支部会員小山女史よりネットでの申込みをお願いし、抽選結果を待つ。見学が許可された。「神っている」かも。

10月21日秋晴れ、総勢8名の見学の開始だ。昼食もそこそこに京都御苑へ急ぐ。簡易テントで受付を行い、いざ迎賓館内に入る。胸が高鳴る。まずは地下駐車場に案内され10分程度、注意事項を受ける。地下駐車場よりスロープを上がり地上へ出る。むくりのついた屋根、外壁と築地塀に囲まれた中央に車寄せの庇が大きく跳ねだしている。

非常にシンプルな外観である。また借景の中に深いたたずまいが感じられる。

玄関扉は檜、木目がとてもきれいだ。しかも引手は燻しのきいた七宝だ。

玄関脇でスリッパに履き替えいざ中へ。国賓を迎えるときには中央に屏風を置くそうだ。しかし今日はない。玄関からの回廊は檜(WPC加工)、壁は漆壁、天井は吉野杉。柱目がとても綺麗だ。わずかながら木の香りがする。障子越しの陰影が和の空間を更に演出している。

聚楽の間(会談室)は天井に化粧垂木が架けられた繊細な空間。長押しには金箔仕上げの鍔金物が品良く粹に取り付けられている。置かれた調度品、工芸品、装飾の全ては、一流職人の手によるものである。

夕映えの間(大会議室)はガラスクロス天井、壁は西陣の製法綴れ織りの「比叡月映」「愛宕夕照」で壁面装飾され、床の手刺段通と合わせあって柔らかい雰囲気を出している。

藤の間(晚餐室)の天井は京指物(鉄釘を一切使用せず柄を組んだ)の技法を生かした光天井で15のパターンに変化するそうだ。壁面の中央には日本の花を織り込んだ西陣の綴れ織り(幅16.5メートル)がある。細かい絵柄がとても繊細で素晴らしい。

また、藤の間には截金に装飾された舞台扉があり、扉は動くたびに光輝く。手が込んだ繊細な

デザインで江里佐代子さんの制作によるもの。

和の晚餐室と位置付けられた桐の間(大広間)の天井は長さ12メートルにもなる吉野杉。室内全体に木、和紙、漆など自然の素材を生かし、色彩も抑えられ和の空間が十分感じられる。漆塗の座卓は一枚板だそうだ。室内の欄間の截金、釘隠しなど伝統の技法があちこちに見受けられる。桐の間の奥には茶室があるがこれは未公開、残念である。

最後に橋廊(垂木の一部に隠し彫りがある)を渡り、過去にブータン国王夫妻が乗船した船だまりに着き見学は終わった。



車寄せ玄関



回廊(1)



回廊より庭園



夕映えの間1



桐の間



夕映えの間2



桐の間より庭園



藤の間



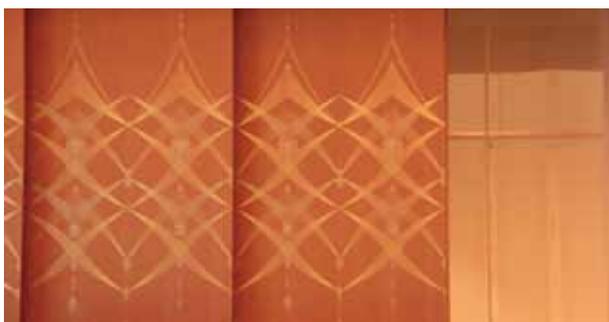
すかし彫



藤の間 天井



橋廊



藤の間 建具



舟だまり

## 会員仕事紹介

### パスタオブジェ・コンテスト

構造設計という仕事柄、元請業務が殆どなく、作品介绍について元請事務所・建築主の了解を取り付ける間もなかった。本来であれば設計事務所としての仕事紹介をすべきであろうが、他に設計を行う所員もいないので村野個人の大学非常勤講師としての業務の一端を記すことでお許しいただきたい。

勤務先は女子美術大学相模原校舎（相模原市麻溝台）デザイン・工芸学科環境デザイン専攻である。そこで「構造計画」と「構造演習」という科目名で週一回の授業を行っている。本稿では「構造演習」で行っている「パスタオブジェ・コンテスト」についてご紹介する。

「構造演習」のテーマは、「構造力学」である。内容は、力とモーメント、静定構造物、断面の性質、応力度等々、構造力学の導入部分の講義と関連の演習だ。「演習」は、講義内容を演習問題で取り組むものが多いのであるが、学生は数学や物理が苦手な人が多く、自分自身難解な理論を論ずる知識の持ち合わせもない。美大生という特性もあるので、架構の仕組みを理解するうえで、構造模型の製作や模型実験を取り入れている。

パスタオブジェは、パスタ（スパゲッティ）と林檎を使ったオブジェである。材料は、市販のパスタ（直径1~2mm、長さ25~26cm）と林檎3個（約200g/個）。グルーガンなどの接着剤を使ってパスタの骨組を製作し、林檎を支えるというのがテーマだ。林檎を除いた骨組の重さは、300g以下としている。さらに、設置部分の大きさを25cm角の範囲とし、林檎3個のうち少なくとも1個は50cm以上の高さに置くこと、林檎同士を15cm以上離すことを条件に課している。

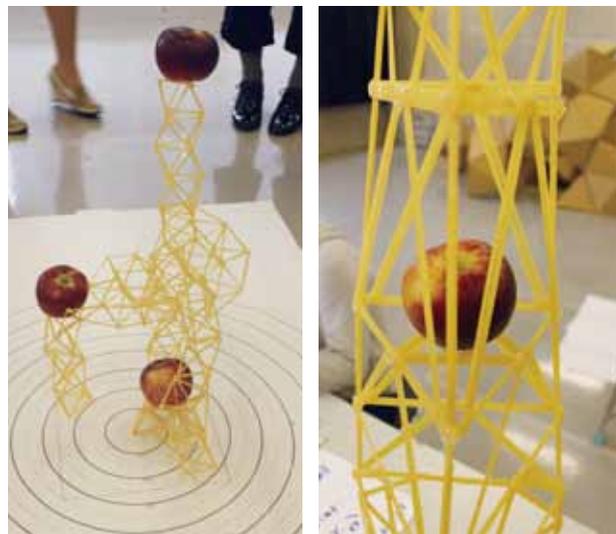
パスタは弾力があるが、細いので座屈しやすく簡単に折れる。長さの制約もある。こんな材料を接着剤で継ぎ足し補強しながら林檎を支持する架構を作るのである。接合の仕方、どこをどのように補強したら良いかは学生ら自身が試行錯誤して施工する。

製作は4人程度のグループで行った。また、林檎の位置により設置面から高さ方向1cmにつき1点、設置位置中心から横方向の離れに対しては1cmにつき2点の点数をつけてその合計得点を競うよ

相模原支部 むらの構造設計室 村野 清文

うなゲーム性を持たせてみた。点数はお遊びのため厳密な意味はないが、林檎の位置が高いほど支えるのが困難になること、設置範囲が限られるため林檎を横方向に張り出して配置するにはよりバランスを考える必要があるというのが主な理由である。

講座の進行も講義と並行で製作があるため必ずしも、講義内容を理解して反映するような作品を期待するものではないが、製作を通して、講義に出てくる内容のいくつかを汲み取ってくれることを成果として望んでいる。パスタを使った演習は以前から単純支持の橋を製作し載荷実験を行うパスタブリッジコンテストも行っている。今回のオブジェ課題は今年が2回目の試みである。学生の作品は、今のところ安定性を意識して割と無難なイメージのものが多いが、いい意味でこちらの想像を超えるデザインが生まれるよう、レギュレーションを見直しながら今後も続けたいと思っている。



## 支部だより

### 鎌倉支部設立20周年記念式典・祝賀会

鎌倉支部 設立20周年記念式典実行委員長 大澤 匠

(一社)神奈川県建築士事務所協会鎌倉支部は平成8年に湘南支部より分離独立し、今年4月1日に設立20周年を迎えました。それを記念し、去る11月18日、設立20周年記念式典・祝賀会が開催され、100人近い方々に御参加いただきました。式典の前に記念講演として「移り変わる鎌倉～写真で見る50年前の風景から～」というテーマで鎌倉中央図書館近代史資料室の平田恵美氏にお話しいただき、過去と現在の写真を見比べながら改めてこの半世紀の鎌倉の変貌を懐かしさと共に感じる事が出来ました。式典では来賓の松尾鎌倉市長、小林神事協会長、並びに久坂鎌倉市議会副議長から挨拶をいただき、最後に梅澤支部長から支部特別功労賞が元支部長の服部綸子氏に手渡されました。服部氏は出席者に配布させて頂いた20周年記念誌の編纂を担当、活動別に整理された素敵な年表を作成してくれました。この年表から見る支部の20年間の活動は多彩で、最近は「仕事展」や「鎌人いち場」など市民活動への参加も多くなり、また本会の役

員や委員を務める支部会員も増え、支部発展とともに県レベルでの活動への貢献も益々期待されていることと思われます。

式典終了後、祝賀会会場に移ってパーティーが始まりました。オープニングはギタリスト柴田杏里氏のギター演奏。‘スペインの風’と題した演奏で、スペインを全体テーマに掲げたパーティーのイメージを盛り上げてくれました。シャンパンでの乾杯の後は立食パーティーの気軽さも加わりあちこちに語らいの輪が広がりました。特別メニューのパエリアも好評、あっという間に時間が経過し、最後にサグラダファミリアをイメージしたケーキの登場で大いに会場が沸いたところでお開きとなりました。

最後に今回の式典に御参加の皆様、および展示物の出典で式典を側面から援助していただいた賛助会の皆様に実行委員長として厚く御礼申し上げます。

「これからの鎌倉支部の活動に是非ご期待ください。」



## しごと展

### 設計事務所の建築しごと展

横浜支部主催の「設計事務所の建築しごと展」はMARK ISみなとみらいの4階にて11/29～12/7に開催されました。今回は横浜40周年記念事業であり、横浜支部だけでなく他支部の方にも参加していただき、計21社の展示になりました。パネルは各社から提出していただいたA3のPDFデータをテーマごとに分類し、コメント、各社の連絡先等を入れ、専門業者にW.1378、H.750の大きさ12枚に作ってもらい、それらを両面で組み合わせ、動線を考慮してワイヤーハンガーで吊るし設営しました。

また入口にはテーマ、支部長のあいさつ、日事連の建築士事務所憲章をパネル化した看板、テーブルを設置し、テーブルには「しごと展」のチラシや事務所協会の案内、意見箱等を見易いように並べました。

私は12/4(日)の当番でした。場所柄、お洒落

横浜支部 副支部長 梅原 義信

な人が多く、東京ガスの料理教室、キッチンコーディネートネイトの展示とともに、ステージ上にセットされた「しごと展」にも訪れていただきました。熱心にご覧になっている方には用意した出展者一覧(テーマ、内容、出展会員名、連絡先記載)を手渡し、内容の説明もいたしました。

中には同業者の方もおられ、横浜支部の会員になって下さるようお誘いしました。

12/7は撤去後に反省会を行いました。この場所での展示は今回が3回目になりますが、回を重ねるごとに良くなってきています。さらに集客力を高め、より多くの会員にも参加していただだけ、さらに社会的テーマの発信ができるようにといろいろな意見が出ました。来年も楽しみにして下さい。

最後にパネルの構成、チラシ作りをして下さった実行委員、そして設営、撤去をお手伝いいただいた皆様、本当にお疲れさまでした。

7



## しごと展

### 県西支部主催小田原市後援 設計事務所のしごと展に参加して

平成28年11月26日（土）AM10:00~PM5:00  
小田原地下街「ハルネ小田原」／ハルネ広場・  
うめまる広場

事務所協会に入会し、初めてのイベントとして参加させていただきました。まだわからないことばかりの新入りですが僣越ながら簡単な感想を述べさせていただきます。

いつもは小田原市街へ出るときの通過動線として、あるいは地元の野菜を購入したり、ときにはお茶休憩をしたり、として慣れ親しんできていたハルネ小田原の地下街での開催でした。

受付とパネル展示のある「うめまる広場」は、多くの人々が利用するエスカレーターの裏側に位置するため、通りがかりの通行客を動員するには少々難があったと思われませんが、小田原市からのダイレクトメールの封筒を持参し、相談を目的として来訪された方々がいらっしゃいました。自宅の耐震に関しては、なんとなく心配だが具体的には手を打たずに過ごされている住民が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そういった意味からも、市からの個別の案内は一定の効果があったと感じました。パネル展示

県西支部

team AeO 一級建築士事務所 徳家 明美

でも市の防災コーナーを熱心に見入っている方が何人かいらっしゃいました。

設計事務所のしごとは、一般の人にとっては身近なものではなく、どんなしごとなのか、自分に関係するとしたら何の役に立つのかなどがわかりにくいと思います。今回のように各事務所がそれぞれのしごとを紹介する前に、設計事務所はこんなことをするところです、こんなふうにあなたのお役に立てますよといった大くくりの説明パネルが導入としてあるのも良いかと思いました。

また、お子様向けコーナーではちびっこたちがとても楽しそうに木のおもちゃで遊んでいて盛況でした。付き添いのお父さんお母さんたちをうまくパネル展示などに誘導できるとより一体感が出てきて良かったと感じました。

このような公共の場で、しごと展を開催して一般の方々に向けて発信する場を持つことはとても意味があると思います。広報のしかたもどんどん新しいメディアを含めて拡げていくと、より多くの人々の目に触れるイベントになれると思います。



## しごと展

## ふじさわ建築しごと展2016

昨年に続き「ふじさわ建築しごと展」が師走前の11月26日（土）・27日（日）の2日間、藤沢駅近のフジサワ名店ビル6階ギャラリーを会場に開催されました。

展示参加は17事務所（会員事務所：10、非会員事務所：7）。昨年と比較し、会員事務所の参加数10に増減はありませんでしたが、非会員事務所が3→7(全て初参加)に増え、新たな刺激を与えていただきました。又、今回のしごと展をきっかけに計6事務所が新たに神事協の仲間に加わることになりました。

初開催の昨年は、念願のしごと展の開催に漕ぎ着けることで精一杯でしたが、一歩目としてたいへん意義が大きいものでした。開催二回目の今年

藤沢支部

三村邦彦建築設計事務所 三村 邦彦

は、支部の永年継続イベントとするため、マンネリ化にならないように、展示参加事務所の方々には、昨年よりも1歩・2歩・3歩前進した内容の展示工夫をお願いしました。その結果、来場者は、今年の97名から171名と予想以上の増加で盛会となり、その成果が次回に結び付くと願っております。

神事協本会からも小林会長をはじめ役員・各支部長・会員・事務局の方々にもご来場いただいたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

まだまだノビシロのある「ふじさわ建築しごと展」を一本目の矢とし、今後、二本目・三本目の矢を放すよう力を合わせ、放った矢が何本もの柱になるように支部活動を発展・充実をさせていきたいと願っております。



# ふじさわ建築しごと展

Fujisawa Design work Exhibition ■■■■■■■■ 2016

新入会員のご紹介	
11月入会者	
<b>横浜支部</b> 二級建築士事務所りぶりふ建築設計工房 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-6 マスニ第一ビル7階 TEL.045-476-5677 FAX.045-476-5678	松浦 淳之介
<b>藤沢支部</b> 株式会社 秀考建築設計事務所 〒251-0016 藤沢市弥勒寺2-2-3 ハナミズキC棟3号室 TEL.090-5205-5321	鵜澤 恵
<b>鎌倉支部</b> 一級建築士事務所 大町工 〒248-0007 鎌倉市大町3-18-1-5 TEL.0467-24-9213	瀬田 健介
12月入会者	
<b>横浜支部</b> 株式会社ビートルホーム二級建築士事務所 〒224-0003 横浜市戸塚区戸塚町474-5 TEL.045-866-3600 FAX.045-866-3651	長谷川 雅章
<b>藤沢支部</b> 一級建築士事務所 設計工房 楽 〒251-0027 藤沢市鶴沼桜が岡3-16-20 TEL.0466-29-9488 FAX.0466-50-7868	岩間 幸司
有限会社 清友建築事務所 〒251-0047 藤沢市辻堂5-10-21 TEL.0466-30-4788 FAX.0466-30-4789	綿貫 清
<b>瀬田支部</b> 瀬田建築企画 〒252-0813 藤沢市亀井野4-1-2 2階 TEL.0466-81-1150 FAX.0466-20-6607	瀬田 剛
一級建築士事務所 近藤敦司建築設計事務所 〒251-0053 藤沢市本町3-15-28 TEL.0466-53-4481 FAX.0466-53-4482	近藤 敦司
有限会社アトリエフジオカー一級建築士事務所 〒251-0871 藤沢市善行7-10-10 TEL.0466-82-4544 FAX.0466-82-4543	藤岡 裕
<b>県西支部</b> team AeO 一級建築士事務所 〒259-0312 足柄下郡湯河原町吉浜315-2 TEL.080-6543-5619	徳家 明美
退会者	
<b>横浜支部</b> 株式会社 鎌倉建築設計事務所	鎌倉 崇
<b>横須賀支部</b> 株式会社ループ	朴 栄信 (新井 新一)
<b>鎌倉支部</b> 一級建築士事務所・友・	服部 倫子
<b>相模原支部</b> 森建築設計室	森 誠一
変更	
<b>川崎支部</b> DAE調査設計事務所 (事務所名変更) 旧) 株式会社大亀工務店二級建築士事務所	
<b>相模原支部</b> 株式会社ハタノ工務店建築設計事務所 (指定代表者変更) 畑野 雅之	

支部名	平成28年12月15日現在				
	平成26年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	262	267	16	11	5
川 崎	105	107	4	2	2
横 須 賀	52	52	2	2	0
湘 南 三 浦	16	18	2	0	2
藤 沢	28	34	7	1	6
鎌 倉	39	40	3	2	1
茅ヶ崎寒川	18	18	0	0	0
平 塚	21	20	0	1	-1
秦 野	18	19	1	0	1
伊 勢 原	9	9	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	34	33	0	1	-1
座 間	13	15	3	1	2
海 老 名	15	16	1	0	1
愛 川	7	7	0	0	0
相 模 原	75	73	0	2	-2
県 西	41	41	1	1	0
合 計	772	788	40	24	16
賛助会員	74	83	9	0	9

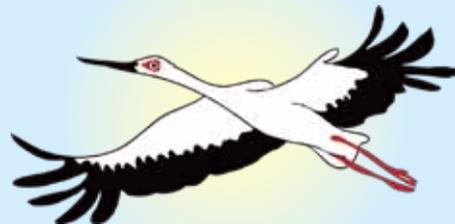
※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。  
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

## 編集者のつぶやき

### 2017・丁酉（ひのととり）慎重に羽ばたく年！！

今年、十干では、丁（ひのと）、5行の考え方から火の性質。十二支の酉（とり・鶏）は、金の性質となる。「火」と「金」の組合せは、「相克」の関係で、相性が良くないらしい。丁は、充実し伸び盛りで、酉は、これ以上成長しない状態と言う事。しかし、酉（鶏）は、「夜明け、一番に鳴く」事から、縁起が良いとされ、「とり込む」で、商売繁盛（酉の市）に繋がるとされている。

日本経済は、緩やかな景気回復基調らしいが、感じられない。コウノトリを探しに出かける年にしたいものです。自ら、いい年にする「大トリ」でなくていい、しっかり地に着き、進みましょう!! 【横浜支部 雨森 隆子】



## かながわ 平成29年1月号（通号406号）

発行 平成29年1月1日（奇数月1日発行）  
 発行人 小林 忠志  
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会  
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F  
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807  
 印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担当副会長 小渡 佳代子
- ・ 広報情報委員長 白川 正孝
- ・ 広報情報副委員長 三村 邦彦 小泉 厚
- ・ 広報情報委員 雨森 隆子 恩田 耕爾 清田 鈴美子
- ・ 新倉 良一 小井口 英寿 坪井 教一
- ・ 杉本 勝郎 神尾 明美
- ・ 事務局 小林 恵美



---

今月の表紙

## 晩秋の三溪園

晩秋の三溪園を訪ねました。紅葉もほぼ終わり冬支度に入っている時期ですが、直前まで暖かかったり寒かったり。異常が異常でない昨今、季節感が薄らいでいるのを感じます。

日本人から季節感を取ったらどうなるのでしょうか。

---



一般 社団法人 神奈川県建築士事務所協会  
Kanagawa Architect Office Association